

Do!

2022.SPRING
VOL.476
QUARTERLY

DOKKYO UNIVERSITY NEWS

これからの私。これからの獨協。

- 02_学長メッセージ
- 03_2022年度入学式、2021年度卒業式
- 04_特集 キャンパスおすすめスポット巡り!
- 16_読者アンケート

「教育共同体」の一員として 「人間形成の場」で 輝きを放つ存在に

獨協大学学長 山路 朝彦



山路 朝彦(やまじ・あさひこ)

1953年生まれ。81年東京外国語大学大学院修士課程外国語学
研究科ゲルマン系言語専攻ドイツ語修了。86年獨協大学外国語
学部専任講師、90年外国語学部助教授、01年外国語学部教授。
本学における役職歴は、94～96年外国語学部教務主任、97～01
年学長室委員、03～07年学生部長兼敬和館長、08～12年教務
部長、12年～19年副学長兼総合企画部長および獨協学園理事。
20年4月1日より学長に就任。

獨協大学は、この4月1日に入学式を
開催し、2170名の学部生と3名の
大学院生を迎えました。入学式で話した
ことのうち2点を、改めて全学生の皆さ
んに伝えたいと思います。

入学式の学長式辞では、まず、「大学は
学問を通じての人間形成の場である」と
いう建学の理念を紹介し、その理念に創
設者である天野貞祐先生が込められた
意味を説明しました。ここでは、天野先
生の第1回入学式学長式辞の中から、そ
のお考えが最も簡潔に述べられている部
分を引用いたします。

「人間教育ということが言われており
ますけれども、私どもの考えている人間
教育というのは、もっぱら学問を通じて、
もちろん他の活動を否定するものでは
ございませんけれども、総じて学問を通
じて、勉学によって人間を形成しようと
いうのであります。そうしてよき意思を
養い、豊かな情操を蓄え、知識を磨き、ま
た健やかな健康を持った人格を育成し
ていこうという考えであります。」(傍線
部分は加筆しました)

ここに、人間形成をまさに学問を通じ
て行おうという、獨協大学を作られた目
的が明確に述べられています。また、獨協
大学で育ってほしい人間像を、善良な意
思をもって考え、行動し、豊かな感性をも
ち、磨き上げられた知識を備え、かつ、健
康な人物と定義しています。このような

人物を目指して勉学に励んでもらうとい
う考えは、獨協大学の60年近い歴史の中
で一度も揺らいだことはありません。

入学式ではもう一つのことをお話し
しました。それは、「入学式に参加するこ
とで『獨協大学という教育共同体』の一
員となったことを意識してください」と
いうことです。ここで言う「教育共同体」
というのも天野先生のお考えです。要約
するならば次のようになるでしょう。

「へしばば学生は大学を、そこに通う
もの」といった、自分の「外にあるもの」と
考えがちである。しかし、自分が作った獨
協大学はそうではない。学生と大学は
別々にあるのではなく、一体である。獨
協大生がいるから獨協大学はあり、獨協
大学があるから皆は獨協大生となる。獨
協大生が成長すれば、大学も発展する。
皆さんは獨協大学という「一つの生きた
生命体」の中にあり、その構成員である。
獨協大学という一つの「共同体」の一員
なのです。」

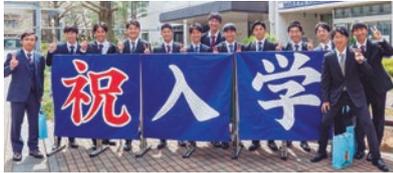
今年の入学式では、獨協大学を構成す
るのも創り上げるのも皆さんであるこ
と、皆さんが光り輝くことで大学も輝
き、大学が輝くことで皆さんも輝くのだ
ということを天野先生のお考えを紹介
しながら述べました。どうか、皆さんがこ
れから獨協大学で過ごす年月を大切に
し、自らを磨き、輝きを増す、成長の時と
してほしいとの願いを込めました。



トルステン・シュトルツェンベルク
一等書記官文化課長



立て看板前で記念撮影をする新入生



学内各所で記念撮影する様子がみられた

2022年度入学式 今年度は2,173名が入学

〈学部〉ドイツ語学科:154名、英語学科:308名、フランス語学科:103名、交流文化学科:123名、言語文化学科:183名、経済学科:325名、経営学科:362名、国際環境経済学科:144名、法律学科:297名、国際関係法学科:81名、総合政策学科:90名
合計2,170名
〈大学院〉外国語学研究科:3名 合計3名

4月1日、35周年記念館アリーナにて2022年度入学式を挙行し、2,173名が新たなスタートを切った。当日は、マスク着用や検温および手指の消毒などの感染症予防対策を取り、例年は全新生が一堂に会するところ、席の間隔を空け、学部、研究科を指定して午前と午後2部制で実施した。

式典で、山路朝彦学長は「皆さんは獨協大学で学ぶことに誇りと自信を持ち、この素晴らしい学修、生活環境の中で、自らを精一杯、磨き上げる努力を怠らないでください」と式辞を述べた。続いて、吉田謙一郎獨協学園理事長は「AI、IoTのツサエティ5・0に向けた大変革期の現在においては、課題解決のできる能力、イノベーションの能力が求められ、今後はそれにつながる『学び方』をしていく事が必要です」と激励の言葉を贈った。

また、当日急遽ご臨席がかなわなくなったクレイメンス・フォン・ゲッツェ駐日ドイツ連邦共和国大使閣下からは、「大学での学びは『旅』です。目的地をしっかりと見据えてください」とお祝いのメッセージが寄せられた。このメッセージはご臨席いただいた駐日ドイツ連邦共和国トルステン・シュトルツェンベルク一等書記官文化課長によりドイツ語で新入生に届けられた。なお、式典の様子は、当日出席できない新入生と新入生のご家族を対象にオンライン上でも配信した。

第55回 卒業式・ 第44回 学位記授与式

■ 学 士

学 科	取得者数	総 代
ドイツ語学科	139名	紅林 佑佳
英語学科	225名	山崎 美羽
フランス語学科	128名	西條 あみ
交流文化学科	133名	山田 純平
言語文化学科	162名	菅野 美佳
経済学科	327名	高橋 結菜
経営学科	295名	細野 遥
国際環境経済学科	136名	伊藤 有里菜
法律学科	243名	川野 伸悟
国際関係法学科	86名	荒川 実穂
総合政策学科	77名	大久保 愛菜

■ 修 士

研究科	取得者数	総 代
法学研究科	1名	福田 朔
外国語学研究科	2名	海老原 貴司
経済学研究科	6名	森岡 直樹



学位記と共に記念撮影



各学科の総代が山路学長から学位記を受け取った

3月20日、第55回卒業式・第44回大学院学位記授与式を挙行し、1,960名の卒業生、修了生が旅立ちの日を迎えた。式典は、キャンパスおよび式典会場が密にならないよう学部を分け2部制で実施し、卒業生本人のみの出席とした。式典の様子は、当日出席できない卒業生と卒業生のご家族を対象にオンライン上でも配信した。

山路朝彦学長は「本日の学位記授与は、皆さんがコロナ禍の中、困難を克服して、学位にふさわしい学びを修められたことを獨協大学が証明するものです。学位を取得されたことに誇りを持ち、社会に堂々と乗り出してください」と式辞を述べた。続いて、吉田謙一郎獨協学園理事長は「変化を脅威として捉えるのではなく、チャンスと捉え、観察力、洞察力、吟味力を身に着けた上で、自らが幸運をつかむチャンスに備えてください」と卒業生を激励した。

卒業生を代表し、第一部ではドイツ語学科の初澤汐里さん、第二部では言語文化学科の鈴木真唯さんが答辞を述べた。式典終了後には、袴やスーツを着た卒業生同士で思い出を語りあう様子や、記念撮影をする姿が見られた。また、プロムナードには、クラブ・サークルの部員から寄せられたお祝いメッセージが書かれた看板が並べられ、学生センターには、風船で装飾されたアーチが設置されるなど、キャンパス内は祝福ムードに包まれた。

01 図書館



天野貞祐記念館1～3階に位置する図書館。蔵書数は100万冊を超え、様々な資料やサービスで皆さんの学びをサポートしています。

【開館時間】月曜日～金曜日 8:30～20:00
土曜日 8:30～18:00 日曜日、祝日は閉館。
※ただし、7月3日(日)、10日(日)、17日(日)、18日(祝・月)、24日(日)は休日開館(10:00～18:00)を実施予定。



02 ICZ (International Communication Zone)



気軽に外国語や外国文化に触れ、交流できる場である「ICZ」。ドイツ語や英語、フランス語などのチャットルームへの参加や、海外DVDの視聴など様々な利用方法があります。

【開館時間】月曜日～金曜日 8:45～19:00
土曜日、日曜日、祝日は閉室。
※長期休業期間中は閉室時間が異なります。



キャンパス おすすめ スポット巡り!

全ての学生がひとつのキャンパスで学ぶ、「オールインキャンパス」。そんなキャンパス内の魅力的なスポットを学生記者3名に紹介してもらいます。



学生記者



学生記者



学生記者

03 CLEAS クリアス



オンライン授業の受講やグループワーク、資料印刷ができる自律学習スペース。パソコン無料講習会も行っており、常駐スタッフが皆さんをサポートします。



【開室時間】授業期間 月曜日～金曜日 8:45～18:30 土曜日 8:45～12:50
授業期間外 月曜日～金曜日 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:00



07 英語学習サポートルーム



中央棟1階にある「英語学習サポートルーム」では学生一人ひとりが自分の目標や学習スタイルに合わせ、英語学習を計画・実践するためのサポートをします。何度でも無料で利用できます。

【開室時間】月曜日～金曜日 9:30～16:45
※ドイツ語学科・フランス語学科・経済学部・法学部
1～4年生が対象です。



08 芝生広場



天野貞祐記念館と東棟の間に位置する芝生広場。天気の良い日はここでランチをしたり、グループワーク等様々なアクティビティをしている学生もいます。

09 ぶっくぎゃらりい DUO

35周年記念館1階にある「ぶっくぎゃらりいDUO」では、書籍や雑誌の他に獨協大学オリジナル文具も販売しています。



【営業時間】月曜日～金曜日 9:30～16:00
【休業日】土曜日、日曜日、祝祭日、入試期間、大学創立記念日(10/22)、年末年始

04 学生食堂



35周年記念館2階にある「学生食堂」では、ランチや休憩に利用するほか、サークルで集まったり、授業の合間に友達と談笑したりすることもできます。

【営業時間】月曜日～金曜日 11:30～13:30
(施設利用可能時間は10:00～18:00)
【休業日】土曜日・日曜日・祝日および夏季・冬季休業期間



05 スタイルカフェ



天野貞祐記念館1階にある「STYLE CAFE」。店内に30席、オープンテラスには約20席があり、授業の合間の時間に安らぎを提供してくれます。

【営業時間】月曜日～金曜日 10:00～14:00
【休業日】土曜日・日曜日・祝日および夏季・冬季休業期間



06 トレーニングルーム

学生センター2階にある「トレーニングルーム」。利用前に一度講習を受けることで、本学の学生ならどなたでも利用することができます。



【開室時間】月曜日～土曜日の授業時間以外
※利用時間の詳細、講習会のスケジュールは、PorTaIIでお知らせします。

獨協大学英語教育研究会 (DUETA) ワークショップをオンラインにて開催

3月5日、獨協大学英語教育研究会 (DUETA) 主催の第11回ワークショップ (『指導と評価の一体化から考えるICTの活用と英語教育』) がオンラインにて開催された。講師は、有嶋宏一氏 (鹿児島県総合教育センター 研究主事、本学卒業生) が務め、およそ120名が参加した。参加者からは、「具体例を示していただき非常にわかりやすかった」「次年度から取り組むべき課題が明瞭になった」といった声が寄せられた。



詳しくはHPをご覧ください。

子どもたちを支援する自動販売機を設置

「こども食堂」の運営団体「こども応援団マイカ」を支援するために新たな自動販売機を、西棟や天野貞祐記念館など学内に計10台設置した。「こども応援団マイカ」は地域のこどもや子育て中の保護者を支援する地域団体で、こども食堂を通して、地域交流の「居場所」を作ることが目的に活動している。自動販売機の売上金の一部を「こども応援団マイカ」に寄付し、地域貢献の一助とするとともに、本学のSDGs推進にも寄与するもの。



クラブ・サークルが新入部員を募集中

獨協大学の29の文化会団体(部)、39の体育会団体(部)、42の愛好会団体(サークル)では、現在、新入部員を募集している。

各団体の情報は、以下から取得可能。

- 大学ホームページでどんな団体があるか調査
トップページ▶学生生活▶クラブ・サークル
- 冊子『雄飛』で団体の活動を確認
- 獨協大学学友会新入生歓迎ページ (二次元コード) をチェック
- 学友会事務課 (学生センター3階) スタッフに相談



協定校からの留学生が2年ぶりにキャンパスへ

新型コロナウイルス感染症対策の入国制限緩和に伴い、協定校からの留学生18名が来日した。コロナ禍で留学生は、滞在国でのオンライン履修や、留学自体を延期せざるをえない状況が続いていたため、受入れは2年ぶりとなる。前年度秋学期から留学を継続しているバイエステ・バルセイス・ポルさん (バルセロナ自治大学) は「時差に苦労した半年だったが、ついに来日がなかった。日本での学生生活が楽しみだ」と語った。



来日したばかりの留学生とサポート学生

獨協大学 セミナーハウス (仮称) 建設工事の起工式を開催

3月24日、獨協大学セミナーハウス (仮称) 建設工事の起工式を執り行った。

式典には吉田謙一郎獨協学園理事長をはじめ、山路朝彦学長、設計・監理会社の株式会社石本建築事務所代表取締役社長、施工会社の清水建設株式会社常務執行役員関東支店長らが出席した。

山路朝彦学長は式典で「セミナーハウス (仮称) には、本学学生の新たな教育研究、課外活動の他、地域への貢献や交流の場としての役割を期待しています」と挨拶した。

当施設は、来年2023年1月に完成、4月の運用開始を予定している。



オープンカレッジ特別講座 「世界を驚かせた北斎と『北斎漫画』」

3月26日、天野貞祐記念館大講堂にてオープンカレッジ特別講座を開催した。講師は73年に本学英語学科を卒業した浦上満氏 (浦上蒼穹堂代表) で、学生時代に蒐集を始めた『北斎漫画』は、現在では世界一のコレクションとして知られる。事前の申し込みにより抽選に通った210名が来場し、併用したオンライン配信では180名が受講した。

講座の終盤には質疑応答があり、北斎が改名と転居を繰り返した理由を推論するなど、熱心なやりとりが続いた。



葛飾北斎の画業を解説する浦上満氏

2021年度(公財)大学基準協会による大学評価(認証評価)を受審し、「適合」の認定を受けました

各大学は7年以内ごとに認証評価機関による認証評価を受けることが法令で定められている。本学ではこれが2007(平成19)年度、2014(平成26)年度に次ぐ3度目の認定となる。

本学が作成した『自己点検・評価報告書』などの書面評価、2日間にわたる実地調査を通して審査が行われ、本学の各種取り組みが評価された。大学基準協会からの提言として「長所」と「改善課題」が示された。

今回の認証評価結果を受けて、本学は今後、課題を速やかに改善するとともに、内部質保証をより機能させ、自己点検・評価活動をさらに推進し、より一層の教育研究の充実を目指していく。

認証の有効期間は、2028年度(2029年3月31日)まで。



2022年度入試状況総括

2022年度の獨協大学入学志願者数が確定した。一般選抜と学校推薦型選抜、総合型選抜、その他の選抜を合計した志願者総数は19,641人(前年度16,896人)となった。志願者増の要因としては、新入試制度の導入をはじめとする入試制度改革や積極的なオープンキャンパスの実施によるものと考えられる。

原成吉入試部長は、「18歳人口の減少と私立大学の入学定員厳格化を背景として、受験生の大学選びはより一層慎重になりつつある。2023年度入試では、引き続き受験生の視点に立った入試制度改革などを推進するとともに、改めて獨協大学の魅力を感じてもらえるようオープンキャンパスやSNSなどを通じて積極的にPRしていきたい」と語っている。



2021年に行われたオープンキャンパスの様子

獨協大学SDGs行動指針を策定

本学では2021年3月に「埼玉県SDGsパートナー」へ登録し様々な面でSDGsの達成に向けて邁進してきたが、この度SDGsの活動を全学的に推進し、より活発化させていくために「獨協大学SDGs行動指針」を策定した。行動指針は、「本学構成員のSDGs達成に向けた意識の向上と認識の共有」、「持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」、「地球規模の課題への取り組み」、「地域の課題への取り組み」の4つの柱から成り、社会の発展に寄与するSDGsの達成を担う人材の育成を目指していく。



詳しくは本学HPをご覧ください。

障がいを持つ方々が学内で働いています

本学では、障がいを持つ方々を採用し、だれもが働きやすく活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。2022年4月1日からは、学内での清掃業務に障がい者3名・サポーター1名の計4名が加わりました。

獨協大学は、障がいの有無だけでなく、さまざまな大学構成員がともに活躍できる環境づくりを目指し、「ダイバーシティ(多様性)&インクルージョン(包摂性)の推進」(「獨協大学SDGs行動指針」)に貢献していきます。



進路選択を行う学生に対するキャリアセンターの支援体制

キャリアセンターでは皆さんの進路選択をサポートする様々な取り組みをしています。PorTaII、LINEにて具体的な内容を連絡しますので、最新の情報を必ず確認の上、窓口相談やガイダンス動画の視聴など積極的に活用して下さい。キャリアセンターは皆さんの進路選択をしっかりとサポートしていきます。

キャリアセンターの主な就職支援 (4月1日現在)

- ・相談(対面/WEB)
- ・OB・OG情報照会(対面/WEB)
- ・資料閲覧
- ・就活に関するガイダンス動画のオンデマンド配信(PorTaII、公式LINE)
- ・求人情報の配信(PorTaII)
- ・就職活動体験記の配信(PorTaII)
- ・簡易個室WEBブースの利用

など

新任教員

(五十音順)

- 1 最終出身校
- 2 主な担当科目
- 3 ひとこと

Welcome to
Dokkyo University.

外国語学部交流文化学科 専任講師



大野 恵理
(おおの・えり)

- 1 フェリス女学院大学大学院
- 2 国際ジェンダー論、国際子ども人権論 他
- 3 人の国際移動とジェンダーを考えながら、みなさんと一緒に様々なことを学べるのを楽しみにしています。

外国語学部ドイツ語学科 特任教授



境 一三
(さかい・かずみ)

- 1 東京大学大学院
- 2 ドイツ語
- 3 専門は言語教育学で、特に言語政策を研究しています。一緒に言語の本質に迫る、深い学びをしていきましょう。

外国語学部交流文化学科 教授



長崎 睦子
(ながさき・むつこ)

- 1 国際基督教大学大学院
- 2 Reading Strategies, 英語専門講読
- 3 第二言語習得について研究しています。様々な言語の学びを通して、人生の視野と可能性を広げましょう。

外国語学部ドイツ語学科 専任講師



三宅 舞
(みやけ・まい)

- 1 慶應義塾大学大学院
- 2 ドイツ語圏の演劇、テクスト研究、総合ドイツ語、基礎ドイツ語 他
- 3 ドイツ演劇がどのような面白い美的経験を可能にするか、一緒に考察・議論できるのを楽しみにしています。

国際教養学部言語文化学科 教授



和田 一郎
(わだ・いちろう)

- 1 筑波大学大学院
- 2 数学、データサイエンス、子ども論
- 3 これからの国際教養であるデータサイエンスについて、皆様と深く学びあひましょ。

新任職員

(五十音順)

Nice to meet you!



大谷 朱音
(おおたに・あかね)

学生の皆さんが豊かな大学生活を送ることができるよう働きかけていきたいです。



小野 宗介
(おの・そうすけ)

獨協大学経済学部を卒業いたしました。恩返しができるように日々精進していきます。



高田 駿
(たかだ・しゅん)

獨協大学出身です。大好きな母校の職員として働けることを誇りに思い、今後頑張っていきたいと思います。



高埜 なるみ
(たかの・なるみ)

獨協大学と獨協大学に関わる全ての皆様に貢献できるよう精一杯精進いたしますので、何卒宜しくお願いいたします。



富永 佳助
(とみなが・けいすけ)

はじめまして。皆様の役に立てるように、努力してまいります。よろしくお願いたします。



平田 彩奈
(ひらた・あやな)

皆さんがより良い学生生活を過ごすための縁の下の力持ちになれるよう頑張ります。よろしくお願いたします。



松川 恵大
(まつかわ・けいた)

獨協大学が創立以来の理念をもとに発展できるよう全力で業務に取り組みます。よろしくお願いたします。

芸術・文化に触れよう！

—— 文化施設利用制度のご案内 ——

獨協大学父母の会の助成を受けて、学生証の提示で博物館・美術館への入場が無料(割引)となる制度に加入しています。

■ 東京国立近代美術館

1952年に開設された日本初の国立美術館で、絵画・彫刻・水彩・素描・版画・写真など、さまざまな作品を所蔵している。



撮影：上野剛宏

- 東京メトロ東西線 竹橋駅下車

■ 東京国立博物館

日本を軸に東洋のさまざまな地域の文化財を収集・保管し、一般に公開している。お薦めは重要文化財にも指定されている本館(日本ギャラリー)。



- JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車

その他、下記施設でも制度が適用されます。

東京国立近代美術館(工芸館)

国立西洋美術館

国立新美術館

国立映画アーカイブ

国立科学博物館 附属自然教育園

筑波実験植物園

江戸東京博物館(休館中)

東京都美術館

東京都現代美術館

東京都写真美術館

東京都庭園美術館

東京芸術劇場

■ 国立科学博物館

日本で唯一の国立の科学博物館であり、展示されているもの他に収蔵品の数は485万点を超える。



- JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車

■ 江戸東京たてもの園

都立小金井公園の中に位置し、敷地面積約7ヘクタール。現地保存が不可能な文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示している。



- JR中央線 武蔵小金井駅下車

■ 国立劇場

わが国の伝統芸能の保存および振興を目的として設立。歌舞伎、文楽をはじめ、舞踊、邦楽、民俗芸能、声明、雅楽等のさまざまな芸能を上演している。



- 東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅、有楽町線/半蔵門線/南北線 永田町駅下車

■ 草加市文化会館

草加市に内外から一流の芸術家を招へいし、質の高い芸術を鑑賞する場を市民に提供している。



- 東武スカイツリーライン 獨協大学前(草加松原)駅下車



制度の詳細については大学ホームページをご確認ください。

特典内容、開館時間、休館日等詳細は、各施設公式ホームページをご確認ください。

大学HP美術館・博物館等の利用特典制度

ぶらりらいぶらり Vol. 102 図書館で待っています！

知りたいことがあるとき、ホッと一息つきたいとき、図書館を利用してませんか。

図書館は皆さんの学修をサポートします。

■ どうやって入るの？

図書館があるのは天野貞祐記念館の西側。1～3階に入館ゲートがあります。駅の改札と同じように、学生証をかざして入ります。

■ 図書館の資料を探すには？

図書館の資料は約100万冊。書庫に入っている資料もあります。PCやスマートフォンを使いOneSearchで獨協大学図書館の紙・電子資料、データベースに加え、インターネットの資料・文献情報まで、まとめて検索できます。

また、蔵書検索(OPAC)を使って所蔵資料を探す方法もあります。資料探して困ったときは、レファレンスカウンターで相談できます。

■ 資料を借りるには？

学生証があれば借りられます。借りたい資料を持って1・3階のカウンターに来てください。本・雑誌(最新号を除く)・CDが借りられます。1階には自動貸出機もあります。

■ レポートを作成したい！

PC設置席でレポートを作成できます。作成後は、プリンタで印刷できます。年間1000ポイントまで無料(モノクロ1枚1ポイント)で印刷できます。

■ 自宅からも使ってみよう！

電子書籍や電子ジャーナル、データベースを使うことができます。VPN接続が必要です。

また、MyLibraryでオンラインレファレンス(資料相談)が可能です。

■ 映像資料も見たい！

図書館3階にあるAVコーナーではブース内で映画などの視聴が可能です。利用の際は、感染症対策のためヘッドホン、イヤホンをご持参ください。(ジャック(プラグ)は、φ3.5ステレオミニジャックφ6.3標準ステレオジャックに対応。Bluetoothは対応していません。)



3階には語学学習に役立つ資料が多数。人気の多読コーナーは3階12番書架。



開放感のある眺めで気分をリフレッシュ。

「利用案内」の詳細はこちらへ



<https://www.dokkyo.ac.jp/library/guidance/>

感染症拡大防止のために(2022年3月現在)

新型コロナウイルス感染症に関する対応については、本学HPで周知しています。今後の情勢により対応が追加、変更となる場合があります。本学HPを確認するとともに必ず出校可否フローチャート(QRコード)を確認してください。

<毎日の体調観察>

- ①毎日の体温測定と体調観察は必ずしてください。
- ②不織布マスクを正しく着用してください。

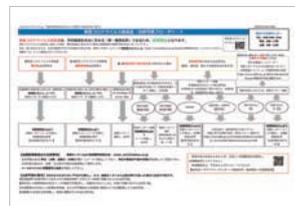
<体調不良時は>

体調不良時は、登校せずに保健センター(048-946-1944)に連絡してください。

<感染症と診断されたら>

以下の感染症にかかった場合(疑いも含む)、学校保健安全法・学校保健安全法施行規則により出席停止となります。診断された場合、「感染症入力フォーム*」に入力してください。折り返し、保健センターから連絡します。

[*獨協大学HPトップページ > 新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について > 感染症入力フォーム](#)



出校可否フローチャート



学校保健安全法施行規則第18条に規定される感染症

第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)及び特定鳥インフルエンザ(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)、新型コロナウイルス感染症
第2種	インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く)、百日咳、麻疹(はしか)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、風疹(三日はしか)、水痘(水ぼうそう)、咽頭結膜熱(プール熱)、結核、髄膜炎菌性髄膜炎

Privacy protection

個人情報

個人情報保護について

本学では、個人情報を取扱う場合に生じる人権侵害から個人を保護するために、本学が保有する個人情報の取扱いに関して必要な事項を定め、本人の権利、利益及びプライバシーの保護に努めています。

問い合わせ先

総務課 048-946-1639



個人情報保護について▶

Committee on Human Rights

キャンパス人権委員会

キャンパス・セクシュアル・ハラスメント防止のために

本学では「キャンパス人権委員会」を設け、委員が学生や教職員の相談に応じ、またセクシュアル・ハラスメント行為防止の啓発活動を行っています。詳しくは、

PorTaIIダウンロードセンター(学生用フォルダ > 学生生活 > 相談・ハラスメント防止 > 「2022セクハラ相談ガイド_日本語版、2022年度キャンパス人権委員一覧」)をご覧ください。

セクシャル・ハラスメント防止に関するホームページ▶



Recruitment

募集

学生記者募集

獨協大学ニュースを一緒につくっていく仲間を募集します。学友会活動(クラブ・サークル)との掛け持ちもOK。説明会を開催しますので詳しくはPorTaIIをご覧ください。

問い合わせ先

総合企画課広報係 048-946-1683

kouhou@stf.dokkyo.ac.jp

新しくなった
獨協大学ニュース
「Do!」を一緒に
作りませんか?

Automated External Defibrillator

AED

AED(自動体外除細動器)について

自動体外式除細動器は、突然の心肺停止の救命措置の際に使用する機器です。

設置場所は、獨協大学HP>学生生活>保健・安全衛生>自動体外除細動器(AED)で確認してください。

AED設置場所▶



獨協大学の防災

安心安全なキャンパスライフのために

安否確認サービス利用登録しましたか？

本学では、災害時に学生や教職員の安否を確認するため、セコムトラストシステムズ株式会社が提供するセコム『安否確認サービス』を導入しています。災害時に自身の安否状況を報告できるよう、利用登録を行ってください。

<利用登録の手順(スマートフォンの場合)>

1. e-革新サービスへログイン

<https://www.e-kakushin.com/login/>

ログインに必要な企業コード、ID、パスワードは獨協大学Webメールにお送りしています。

2. 本人情報の変更

画面右上の「メニュー」→「アカウント管理」→「パスワード変更」から初期パスワードを変更後、図1のページ最下部の「本人情報を変更する」を押し、必要な情報登録、修正を行ってください。特に図2の以下3項目については、各人により追加の登録をお願いします(登録は任意)。



利用登録、利用方法の詳細はPorTaIIダウンロードセンターで公開しています。

PorTaII > ダウンロードセンター > 防災 > セコム安否確認サービス
問い合わせ先 総務課 048-946-1785



QRコードからe-革新サービスのログイン画面にアクセス!

5月24日(火)、

attention!

受信テスト訓練を実施

5月24日(火)に安否確認サービスの回答訓練のテストを実施します。

安否確認メールは「~@pa.e-kakushin.com」から発信されます。予め受信できるよう左記の手順にしたがって事前作業を行ってください。



受信したらすぐ回答



防災マニュアル

安否確認サービスの回答方法、学内避難経路図の情報などは携帯サイズの「携帯用防災マニュアル」に掲載しています。

防災マニュアル▶



毎年10月は防災訓練が開催されます

2022年10月19日(水) 15:05~

※3限目の授業終了10分前から避難放送開始

獨協大学では例年10月に全学的な防災訓練を実施しています。災害時に被害を最小限にとどめるための意識やスキルの向上が目的です。学生は避難訓練や消火訓練、安否確認サービスの回答訓練などに参加します。昨年は避難所設営訓練を実施し、学内で避難所を開設した際のイメージを体験してもらいました。

日頃からの備えがいざという時大切な命を守ることに繋がります。大学内で地震が起きたら、まずは身をかがめ、机の下などに入り、頭を保護するなど身の安全を図りましょう。揺れが収まったら、放送の指示に従って避難します。学内の避難場所はグラウンドです。



[2021年度防災訓練]

西棟2階 防火戸防火シャッターを閉じる様子 / 学生センター雄飛ホール 避難所設営訓練の様子

防災備蓄品活用メニュー 200円防災カレー

SDGs活動の一環として、大学防災備蓄品のフードローテーションなどの観点から、アルファ米を活用したメニュー「防災カレー」を5月17日(火)、19日(木)の2日間限定で学生食堂利用者に特別価格にて提供します。この機会に是非、普段あまり食べる機会のない備蓄食を味わいましょう。



【実施概要・調査方法】

2021年度秋学期「学生による授業評価アンケート」は、原則、第13回目あるいは第14回目の授業日(最終授業日)(12月20日、24日、25日、1月11日～13日、17日～22日)の指定クラスにて教員から学生への指示の下で行いました。しかしながら、遠隔授業のため授業中に教員から学生へ指示を出すのが難しい場合を考慮し、対象となる全ての学生に対して、12月20日～1月23日の間に各自アンケートに回答するようPorTaIIの個人向け掲示板や電子メールにより呼びかけました。

アンケートはアンケートA(選択式)とアンケートB(自由記述)の方式をとり、アンケートAでは授業ごとに「学生の出席状況」「授業に関する5項目の質問」「授業の問題点」について選択肢を設けました。アンケートBでは学生からの要望・意見を記述式で求めました。

また、回答者の授業評価が一定以上出席した上での判断であるかどうかを把握するために出席状況を確認し、「24%以下」「ほぼ全回欠席」と回答した学生に対しては、低出席の理由を回答する選択肢を設けました。

【集計方法】

アンケートAは授業ごとの満足度を集計しました。アンケートBは学科・学年・出席状況の入力と、自由記述部分は回答者が入力した原文をそのまま集計しました。なお、集計の際には学生個人を特定するデータは一切含まれていません。

【集計結果】

次ページの全体集計結果をご参照ください。

※フィードバック公表制度について:各教員の任意によりフィードバックが寄せられます。内容は評価結果について①項目別の納得度および項目別の意見・感想、②全体の納得度、③全体の意見・感想が記されています。フィードバックは、PorTaIIにて当該科目の受講生限定で3月3日から公表しています。また、アンケートAの集計結果は、紙媒体により学内3か所(図書館、教務課、学友会総務部長室)で公表しています。

●「学生による教育環境改善のためのアンケート」の結果については大学ニュース7月号でお知らせする予定です。

【教員へのアンケート結果の報告】

アンケートAおよびアンケートBの集計結果については、各教員は2月7日から各自の担当科目についてPorTaIIで閲覧可能となっています。

また、各教員が自身の授業への評価が全学でどの位置にあるかを把握できるよう、担当する授業の評価と全学平均を比較表示した資料を個別配付しました。資料では、授業に関する5項目の質問の回答を「そう思う=1.5」「ややそう思う=0.5」「あまりそう思わない=-0.5」「そう思わない=-1.5」「わからない=0」として、平均値を算出し、評価指数としました。

なお、アンケートAおよびアンケートBとも回答者が特定できるようにシステム設計されています。

【今後の方針】

授業評価アンケートにより、教員は学生の授業に対する評価・感想・要望などを知ることができ、授業計画の修正や授業方法の改善を図ることができます。授業評価アンケートは学生の意見を取り入れながら授業の質や教育効果を高めていく手段として重要なものです。

本学では各教員より寄せられるアンケート結果に対するフィードバックを公表する制度(※)を継続して実施しています。授業に対する教員・学生の相互理解が深まり、よりよい授業が展開されるよう取り組んでいきたいと考えています。

(自己点検・評価室)

【アンケート結果について(授業評価部分)】

講義

各項目における<そう思う><ややそう思う>の割合は合わせて88%以上である。各項目の評価指数は、授業形態別では「外国語」と同じあるいは低く、「演習」、「体育」より低い。昨年度との比較では、全ての項目において、<そう思う><ややそう思う>の割合が増加し、<そう思わない><あまりそう思わない>の割合が減少している。

外国語

各項目における<そう思う><ややそう思う>の割合は合わせて89%以上である。各項目の評価指数は、授業形態別では「講義」と同じあるいは高く、「演習」、「体育」より低い。昨年度との比較では、全ての項目において、<そう思う><ややそう思う>の割合が増加し、<そう思わない><あまりそう思わない>の割合が減少している。

演習

各項目における<そう思う><ややそう思う>の割合は合わせて95%以上である。各項目の評価指数は「講義」「外国語」より高く、「体育」と同じあるいは高い。昨年度との比較では、全ての項目において、<そう思う><ややそう思う>の割合が増加し、<そう思わない><あまりそう思わない>の割合が減少している。

体育

各項目における<そう思う><ややそう思う>の割合は合わせて91%以上である。各項目の評価指数は、授業形態別では「講義」「外国語」より高く、「演習」と同じあるいは少し低い。昨年度との比較では、「3.この授業は知的関心・教養を高めたり、専門的知識・技能を身につける上で役立った」を除いて、全ての項目において、<そう思う><ややそう思う>の割合が減少し、<そう思わない><あまりそう思わない>の割合が増加している。

その他

昨年度との比較では、授業の問題は、「テキストや教材が適切でない」及び「宿題・課題が適切でない」について概ね値が低下し改善しているが、コロナ禍前の2019年度秋学期との比較では、「外国語」の「テキストや教材が適切でない」以外は、値が高い。

新人事(4月1日付)

■役職

- ◇ 外国語学部長 渡部重美(再任)
- ◇ 経済学部長 倉橋透(再任)
- ◇ 法学部長 鈴木淳一(再任)
- ◇ 教務部長 坂場良久(再任)
- ◇ 総合企画部長 岡垣知子(再任)
- ◇ 自己点検・評価室長 花本広志(再任)
- ◇ キャリアセンター所長 岡田圭子(再任)
- ◇ 国際交流センター所長 前沢浩子(再任)

■退職(3月31日付)

- ◇ 経済学部長 西牟田祐一
- ◇ 経営学部長 平井岳哉(再任)
- ◇ 国際環境経済学部長 樋田勉
- ◇ 法律学部長 納屋雅城(再任)
- ◇ 国際関係法学科長 一瀬高博(再任)
- ◇ 総合政策学部長 大谷基道(再任)
- ◇ 外国語学部教務主任 上村敏郎(再任:5月1日付)
- ◇ 経済学部教務主任 大坪史治
- ◇ 法学部教務主任 関根徹
- ◇ 保健センター所長 伊藤晋一(再任)
- ◇ 保健センター附属診療所長 伊藤晋一(再任)
- ◇ カウンセリングセンター所長 田口雅徳(再任)
- ◇ 法学研究科委員長 鈴木淳一(再任)
- ◇ 経済学研究科委員長 塩田尚樹(再任)
- ◇ 法学研究科主事 張睿暎
- ◇ 経済学研究科主事 鈴木淳
- ◇ 地域と子どもリガルス・サービスセンター長 花本広志(再任)
- ◇ 学友会会長 山路朝彦(再任)
- ◇ 学友会総務部長 吉川信将
- ◇ 学友会文化部長 若尾岳志
- ◇ 教員
 - ◇ 柿沼義孝、秋野有紀、岡村りら、佐藤恵、竹田いさみ、須藤時仁、陰山孔真、三宅弘
- ◇ 年度途中退職者
 - ※は2022年度非常勤講師
 - ◇ 佐藤唯行、岡村国和

2021年度秋学期「学生による授業評価アンケート」全体集計結果

2021年度秋学期「学生による授業評価アンケート」の授業形態別(講義・外国語・演習・体育)の全学的な平均値を報告します。

実施状況

1 授業形態別 出席状況(全学平均)									
項目	選択肢	単位 %							
		講義		外国語		演習		体育	
		21秋学期	20秋学期	21秋学期	20秋学期	21秋学期	20秋学期	21秋学期	20秋学期
出席状況	100-75%	87.4	91.0	90.4	95.0	90.9	92.0	83.2	87.1
	74-50%	8.4	5.7	7.7	3.5	7.9	6.5	9.1	7.7
	49-25%	1.5	1.3	0.8	0.4	0.4	0.9	1.0	3.9
	24%以下	0.8	0.8	0.2	0.2	0.1	0.1	0.5	0.0
	ほぼ全回欠席	1.9	1.2	1.0	0.9	0.6	0.5	6.3	1.3
	不明(未記入)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	対象者数	回答者数	回答率
21秋学期	7,811	2,519	32.24%
20秋学期	8,194	2,746	33.51%

2 授業形態別 低出席者率・理由(全学平均)									
項目	選択肢	単位 %							
		講義		外国語		演習		体育	
		21秋学期	20秋学期	21秋学期	20秋学期	21秋学期	20秋学期	21秋学期	20秋学期
低出席者率		2.7	2.0	1.2	1.1	0.7	0.6	6.7	1.3
低出席理由	授業内容に不満	24.6	30.5	10.2	27.4	0.0	11.1	14.3	50.0
	必修科目外	27.4	26.7	11.9	11.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	アルバイト	14.5	10.5	15.3	12.3	0.0	22.2	21.4	0.0
	就職活動	10.9	18.8	5.1	4.1	10.0	22.2	21.4	50.0
	クラブ・サークル	1.6	1.1	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不明(未記入)	33.5	29.7	61.0	52.1	90.0	66.7	28.6	50.0

注1:「低出席者率」とは、出席状況「24%以下」「ほぼ全回欠席」を選択した人の率を指しますが、回答者の評価がその授業に一定程度出席した上での判断かどうかを把握するための作業上の基準であり、履修上必要な最低限の出席頻度を意味するものではありません。

注2:複数回答可。値は低出席者数における回答数で表したものです。

4 授業形態別 授業の問題(全学平均)									
項目	選択肢	単位 %							
		講義		外国語		演習		体育	
		21秋学期	20秋学期	21秋学期	20秋学期	21秋学期	20秋学期	21秋学期	20秋学期
授業の問題	テキストや教材が適切でない	2.0	2.4	1.4	1.7	0.6	0.7	0.5	1.3
	宿題・課題が適切でない	3.0	3.5	3.5	4.1	1.3	1.6	1.0	0.6
	板書が見えにくい	1.1	1.0	1.0	0.9	0.4	0.3	0.0	0.6
	教員の話が聞き取りにくい	2.9	3.1	3.2	2.9	0.4	0.7	1.0	0.6
	学生の私語が多い	0.3	0.1	1.0	0.1	0.1	0.1	1.0	0.0
	未揭示休講がある	0.3	0.4	0.4	0.6	0.2	0.1	0.0	0.0
	教員の遅刻・早退が多い	0.5	0.4	0.8	1.1	0.1	0.3	0.0	0.0
	その他	1.3	1.7	1.4	1.8	0.5	0.5	0.0	0.0

注:複数回答可。値は回答者数に対する回答数で出したものです。

3 授業形態別 授業評価(全学平均)									
項目	選択肢	単位 %							
		講義		外国語		演習		体育	
		21秋学期	20秋学期	21秋学期	20秋学期	21秋学期	20秋学期	21秋学期	20秋学期
1. この授業の目標設定と内容は適切であった	そう思う	71.4	68.7	71.9	72.7	84.9	83.6	80.8	80.0
	ややそう思う	21.4	23.8	21.7	20.3	13.1	13.1	11.5	16.1
	あまりそう思わない	3.7	4.3	3.9	4.1	1.2	1.8	2.9	1.9
	そう思わない	1.9	2.0	1.5	2.0	0.6	0.8	1.0	0.6
	分からない	1.6	1.2	1.0	0.9	0.2	0.7	3.8	1.3
	評価指数(ポイント)	1.1	1.1	1.1	1.1	1.3	1.3	1.2	1.3
	2. この授業の担当教員の説明はわかりやすかった	そう思う	65.1	60.7	66.5	64.3	83.7	82.8	79.8
ややそう思う		23.2	25.5	23.4	24.0	13.9	13.9	13.5	16.8
あまりそう思わない		6.6	8.0	6.4	6.7	1.8	1.9	1.4	1.3
そう思わない		3.3	4.1	2.7	3.5	0.5	0.9	1.4	0.0
分からない		1.8	1.6	1.1	1.4	0.1	0.5	3.8	1.3
評価指数(ポイント)		1.0	0.9	1.0	1.0	1.3	1.3	1.2	1.3
3. この授業は知的関心・教養を高めたり、専門的知識・技能を身につける上で役立つ		そう思う	68.3	64.9	68.6	67.5	83.6	83.9	79.8
	ややそう思う	22.8	25.8	23.2	24.0	14.0	13.0	12.5	17.4
	あまりそう思わない	5.0	5.4	5.4	5.0	1.6	1.9	1.4	3.9
	そう思わない	2.3	2.6	2.0	2.5	0.4	0.6	1.4	1.3
	分からない	1.6	1.3	0.7	0.9	0.4	0.5	4.8	1.3
	評価指数(ポイント)	1.1	1.0	1.1	1.1	1.3	1.3	1.2	1.2
	4. この授業の難易度・進度は自分にとって適切であった	そう思う	63.5	59.2	64.0	62.1	76.6	76.4	76.4
ややそう思う		25.0	27.4	25.7	26.0	19.0	18.2	15.4	17.4
あまりそう思わない		6.3	8.2	6.5	7.6	3.2	3.5	1.9	2.6
そう思わない		3.3	3.5	2.8	3.1	0.8	1.3	1.9	0.0
分からない		1.9	1.7	1.1	1.1	0.4	0.5	4.3	1.3
評価指数(ポイント)		1.0	0.9	1.0	1.0	1.2	1.2	1.2	1.3
5. この授業の担当教員は学生の質問や要望に応えた		そう思う	66.5	63.6	70.4	69.4	86.2	84.9	81.3
	ややそう思う	21.6	22.5	20.6	20.0	11.8	11.0	11.1	16.1
	あまりそう思わない	4.6	5.7	4.2	4.7	1.3	2.0	2.9	1.9
	そう思わない	2.7	3.2	2.3	2.7	0.4	0.9	0.5	0.0
	分からない	4.6	4.9	2.5	3.3	0.4	1.1	4.3	4.5
	評価指数(ポイント)	1.0	1.0	1.1	1.1	1.3	1.3	1.3	1.2

New personnel

- ◆ 職員
 - 荒巻正行、諏訪郁夫、田代敏彦、鈴木正美、高島豊、中村千代子、平文音
- ◆ 名誉教授
 - 柿沼義孝、竹田いさみ
- ◆ 昇任
 - ◆ 教授
 - 野原ゆかり(言)、松本守(営)、高畑純一郎(環)
 - ◆ 准教授
 - 網谷社介(律)
- ◆ 学外研修
 - ◆ ドイツ語学科
 - 伊豆田俊輔(2022年4月1日〜2023年3月31日)
 - ◆ 英語学科
 - 羽山恵(2023年3月31日〜2024年3月30日)
 - ◆ フランス語学科
 - 筒井伸保(2023年3月31日〜2024年3月30日)
 - ◆ 言語文化学科
 - 野原ゆかり(2022年4月1日〜2022年9月23日)
 - ◆ 経営学科
 - 李凱(2023年3月31日〜2024年3月31日)
 - ◆ 総合政策学科
 - 関根徹(2023年3月25日〜2024年3月25日)
 - ◆ 特別研究休暇
 - ◆ 英語学科
 - J・J・ダゲン(2022年9月24日〜2023年9月23日)
 - ◆ 国際関係法学科
 - 大藤紀子(2022年9月24日〜2023年9月23日)
 - ◆ 交換教員
 - ◆ 言語文化学科
 - 金秀晶(2022年4月1日〜2023年3月31日)

本箱

本学の先生方が
執筆された新刊情報

柴田 耕太郎(交流文化学科非常勤講師)著
『翻訳メソッドで身につける 究極の英語力』
研究社 2021年10月 1600円



英語翻訳の現場に身を置きつつ、専門学校などで数多くの後身を育ててきた筆者が、自らの「翻訳メソッド」を紹介・解説するテキスト。英語の基本とともに方法論や教材などを紹介します。

市川 須美子(名誉教授)、安原 陽平(法律学科准教授)分担執筆
『コンメンタール教育基本法』
学陽書房 2021年10月 6000円



制定から約60年の時を経て改正された教育基本法について、緻密な解説を施す逐条解釈書。新法の内容、問題点、課題、旧法との比較など、一条ずつ丁寧に読み解き解説する決定版です。

浦部 浩之(言語文化学科教授)分担執筆
『よくわかる国際政治』
ミネルヴァ書房 2021年11月 3000円



世界を取り巻く国際政治を理解するために考えるべき、地域、平和、人権、環境、エネルギー、経済など主要な問題を網羅。必須の基礎理論を押さえて、わかりやすく解説しています。

須永 和博(交流文化学科教授)、鈴木 涼太郎(交流文化学科教授)、松本 健太郎(英語学科非常勤講師)分担執筆
『アフターコロナの観光学 COVID-19以後の「新しい観光様式」』
新曜社 2021年12月 2600円



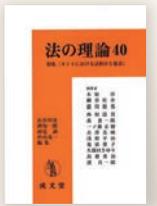
コロナ禍で移動が制限され、封じられてしまったこの時代、移動を象徴する産業「観光」はどうなるのでしょうか？ その問いに答えとともに、観光の新たな可能性を探り出します。

岡田 順太(法律学科教授)共著
『グローバル化のなかで考える憲法』
弘文堂 2021年12月 4100円



あらゆるものが国境を越えて行き交うグローバル社会の現代。国家という枠組を前提とした憲法はどのように変わっていくのでしょうか？ そのこれまでとこれからを考察・展望します。

網谷 杜介(法律学科准教授)分担執筆
『法の理論40 特集(カントにおける法秩序と他者)』
成文堂 2021年12月 3800円



現代の法哲学的観点から考察するべき様々な問題に、多角的な視点から切り込む一冊。「カントにおける法秩序と他者」をテーマに、多くの研究者の多岐にわたる論文を掲載しています。

鈴木 道彦(名誉教授)監訳
(ジャン=ポール・サルトル 著)
『家の馬鹿息子5 ギュスターヴ・フローベール論(1821年より1857年まで)』
人文書院 2021年12月 20000円



「今日、一個の人間について何を知りうるか」という問いから、現代における人間理解の方法に迫ったサルトルの名著「家の馬鹿息子」。全5巻にわたるシリーズ邦訳の最後の一冊です。

雨宮 昭一(名誉教授)著
『時代への向き合い方 一 老年期の学問・高齢社会・協同主義』
丸善プラネット 2021年12月 1800円



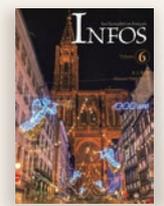
我々はいかにして過去の歴史や現代という「時代」と向き合ってきたのでしょうか。人間と時代との向き合い方とこれからの課題について、論文や書評、ブログなどを通じて考察しています。

明田川 聡士(言語文化学科専任講師)著
『戦後台湾の文学と歴史・社会 一 客家人作家・李喬の挑戦と21世紀台湾文学』
関西学院大学出版会 2022年1月 4800円



戦後台湾文学の作品、作家、読者を取り巻く“今”を、背景にある歴史問題や社会状況から探る一冊。漢民族内でも独自の文化・伝統を守る客家人の作家・李喬の作品から読み解いています。

井上 美穂(フランス語学科非常勤講師)共著
『アンフォ Vol.6 一 フランス語でニュースを読む一』
駿河台出版社 2022年2月 1800円



日本人でも興味を持ちそうなフランスの時事ニュースを、平易なフランス語で取り上げた教科書です。基本的な文法を扱う文法問題と文章を読み解く読解問題が掲載されています。

朴 鍾厚(言語文化学科特任准教授)訳
(松本 克己 著)
『언어를 둘러싼 문제들 - 언어학·일본어문으로의 초대 一 ことばをめぐる諸問題:言語学・日本語論への招待』
박영사 2022年2月 ₩24000



言語学をこれから学び始める人々に捧げる入門書。世界の言語を俯瞰しつつ歴史や構造を分析、日本人・日本語のルーツにまで迫る、言語学の面白さを詰め込んだ一冊の韓国語版です。

関戸 冬彦(言語文化学科非常勤講師)著
『大学英語教育と文学の新たな統合 一 日本の大学における英語と文学の授業実践』
日本評論社 2022年2月 4400円



英語教育の教材に文学作品を扱った場合どれだけの有効性があるのかを探求した一冊。第一部では期待される効果を論じた論文を、第二部では先進的な実践事例と方法を紹介しています。

朴 鍾厚(言語文化学科特任准教授)著
『コツコツ知ろう 韓国の社会と文化』
博英社 2022年4月 1800円



韓国語能力試験4級以上の中上級者に向けた教材です。全14章、各章にテーマを設け、読解、単語、文法表現を解説、練習問題に加えて音声ファイルが利用できる2次元コード付きです。

岩崎 充益(言語文化学科非常勤講師)著
『DX時代の21世紀型学校像』
東京図書出版 2022年4月 909円



21世紀も20年を過ぎ、DX(デジタルトランスフォーメーション)の時代を迎えた現代で、教育と教師はどう変わっていくべきなのでしょうか。そのあり方と今後の展望を探ります。

獨協大学ニュース「本箱」欄に
掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としております。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。

日独交流160周年記念企画展「獨協学園の歩みとその役割」



2021年は、日独交流160周年でした。これは日本とドイツ(当時のプロイセン)が「修好通商条約」を締結した1861年が、両国の外交関係樹立の年とみなされているからです。日独交流の歴史の中で生まれ発展した教育研究機関である獨協学園では、これを機に、獨協学園史資料センター主催、獨協大学外国語学部ドイツ語学科共催で、「獨協学園の歩みとその役割」と題する記念のパネル展を開催することになりました。

会場：獨協歴史ギャラリー
(天野貞祐記念館1階)

開室日：月曜日～金曜日 10:00～16:45



名誉教授
柿沼 義孝
(かきぬま・よしとか)

1979年に専任講師として着任してから43年間、卒業生をはじめとして、学生諸君、教職員の皆様には大変お世話になりました。そして、本当に楽しい日々をありがとうございました。これからの獨協大学の発展を心からお祈りしています。

訃報

親交のあった方々に、メッセージをお寄せいただきました。生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(順不同)



川崎 潔(かわさき・きよし)
名誉教授

2022年1月3日 誤嚥性肺炎のため死去、85歳
1983年 教授
1988年 外国語学部教務主任
2006年 名誉教授

川崎潔先生は、国際基督教大学(ICU)の教養学部を卒業後、同大学の大学院に進学され、教育哲学と英語教育の修士号を取得されました。その後、1973年に本学英語学科の教員として着任され、各種の委員や委員長を務める一方で、主にシェイクスピア作品と欽定訳英語聖書の語法に関する研究をされ高い評価を得られました。本学での教育においては、愛情をもって学生に接し、多くの学生から慕われていました。ICUで学べたりペラルーツ教育を実践されたのだと思います。本学へのご貢献に深く感謝しつつ、安らかな眠りにつかれますよう謹んでお祈り致します。

外国語学部教授 佐々木 輝美(ささき・てるよし)



琴野 孝(このの・たかし)
名誉教授

2022年1月26日 病気のため死去、97歳
1987年 教授
1990年 国際交流センター所長
1995年 名誉教授

琴野孝先生は戦後の日本のオーストラリア社会・経済の最初期の研究者でした。昭和22年、東京帝国大学経済学部卒業ののち、北海道大学、慶応大学、城西大学をへて昭和62年～平成7年、獨協大学経済学部教授で教育、研究に従事。また、メルボルン大学、ニューサウスウェールズ大学など多くの海外大学で客員教授を歴任し日本の大学国際化に多く貢献されました。

経済学部准教授 益山 光央(ますやま・みつお)



佐藤 唯行(さとう・ただゆき)
外国語学部英語学科教授

2022年2月15日 病気のため死去、67歳
1987年 英語学科専任講師
1990年 助教授
1997年 教授

「手書きには暖かみがあると、喜んでくれる人もいます…。」
書類は活字で作ってほしいと、学科長時代の私が求めた。その時のさりげない一言が忘れられない。十数冊に及ぶ著書の原稿、授業のプリント、会議資料…、すべて手書きを通した。その手書きの文字のように、飾らずに暖かい。私の知る佐藤唯行先生である。

それとなく私の好きな戦国史に話題を合わせてくれた。私が落ち込んでいると、ラーメン店に誘い出してくれた。今年も手書きの文字だけの年賀状。先生らしいなと、思わず微笑んだばかりだったのに…。

佐藤先生、長い間本当にありがとう。どうぞ安らかに。合掌

外国語学部教授 杉山 晴信(すぎやま・はるのぶ)



深谷 満雄(ふかや・みつお)
名誉教授

2022年1月11日 病気のため死去、89歳
1981年 教授
1985年 ドイツ語学科長
2003年 名誉教授

ご専門の国際政治に関する深い知見、諏訪根自子のヴァイオリン、楽しいお酒、深谷先生から教えていただいたことを挙げたらきりがない。ご自宅にお邪魔し、時には話し込んでそのまま泊めていただくこともあった。現代ドイツ政治に関する批評、早大生時代の武勇伝、眼鏡越しにはにかむ様に微笑みながら、ぼそぼそとお話しなさる姿が、今も目に浮かぶ。著名な政治学者H.K.ループ先生のご著書を共訳する機会を与えてくださり、それが縁でお二人の友情の輪に加えさせていただいたことも、かけがえのない宝物だ。敬愛する先生のご冥福を、心よりお祈りしたい。

外国語学部教授 山本 淳(やまもと・あつし)

Cover Story

■さん

国際教養学部言語文化学科4年

獨協大学ニュースのリニューアル後、初となる表紙に登場してくれたのは、昨年度の雄飛祭で開催されたグランツコンテストにてグランプリを獲得した■さん。

「グランツコンテスト(glanz contest)」は、獨協大学が人権宣言を発表したことや、多様性の尊重、ルッキズム、ジェンダー思考などの観点から、ミス・ミスターコンテストを廃止し、新たに誕生したコンテストです。グランツはドイツ語で「輝き」。コンテストを通じて自分の新たな輝きを見つけてほしいという願いが込められています。■さんはコンテスト出場をきっかけに「社会問題についてもっと学びたい気持ちが高まり、未知の領域に自分から飛び込む勇気が身につきました!」と語ってくれました。



Photo by Kaoru Fujimoto

獨協大学ニュースをリニューアルしました

2024年に創立60周年を迎えるにあたり、今回新たにサブタイトルの「DO」を前面に出したデザインに一新しました。「DO」には「獨協」の「ど」とともに、学生、教職員全員が「常にアクティブに『動いている(do)大学』でありたい」という願いが込められています。学生の皆さんがより豊かな学生生活を送れるようなヒントを発信していきます。

公式Instagram



活躍している学生や卒業生、大学についての情報を発信。学生のリアルな声を多数掲載しております。

@dokkyo.nyushi



みなさんのフォローお待ちしています!

Dokkyo University News Web版



獨協大学ニュースを本学HPにも掲載しています。バックナンバーも閲覧できますので、ぜひチェックしてみてください。



読者アンケートにご協力ください

今回新たに、デザインを一新した獨協大学ニュース。今後も、読者のみなさんの声をお聞きしながら、さらにパワーアップしていきたいと考えています。獨協大学の「こんなことを知りたい!」「こうしてほしい!」「こんな企画をやってほしい!」など、読者のみなさんの声をお寄せください。



編集	総合企画部(中央棟2階)	TEL048-946-1635	kouhou@stf.dokkyo.ac.jp	
学生記者	跡部 雄太郎(総3年)	池田 奈穂ヴェレーナ(独3年)	伊藤 あす美(関4年)	遠藤 夏乃(済4年)
[五十音順]	岡田 陽依(英2年)	尾木 草輔(律3年)	柿沼 伶(交3年)	斉藤 駿斗(律2年)
	杉田 慶一郎(律4年)	鈴木 綾夏(英4年)	高橋 弘行(済4年)	張 政(英4年)
	長橋 すぐ音(言3年)	原 友里恵(英2年)	藤岡 希(英4年)	古谷 一真(交2年)
	堀口 太陽(英4年)	村井 ひかり(独3年)	吉見 麻菜(済3年)	

略称表記(学科) 独…ドイツ語 英…英語 仏…フランス語 交…交流文化 言…言語文化 済…経済
 営…経営 環…国際環境経済 律…法律 関…国際関係法 総…総合政策



<https://www.dokkyo.ac.jp/>